

みどりっこだより



みどりっこは、お子様が病気やケガなどで、保護者の方がご家庭で看病ができない時など、お子様の症状や体調などに合わせて回復に早く向かえるように専任看護師・保育士が保育看護を行い、1日を安心・安全で快適に過ごしていただく医療機関併設型の病児保育室です。

虫刺されについて

もうすぐ夏本番ですね。夏は虫の活動が活発になり、虫に触れる機会も多くなる季節です。子どもの虫刺されは大人より症状がひどくなる特徴があります。予防と刺されてしまった時の対処法のポイントを抑え、症状が悪化しないようケアしてあげましょう。

虫に刺された時の応急手当

蚊やブユ（ブヨ）に刺された

- ①刺された所をきれいに洗い、虫刺され用の軟こうを塗る。
- ②がまん出来ずに掻いてしまう場合は、ガーゼをあてるか、かゆみ止めのシールを貼る。ただ、シールにかぶれることもあるので、皮膚の弱いお子さんは注意が必要。



「蚊刺過敏症」



慢性活動性EBウイルス感染症の一つで、蚊に刺されると毎回 39 度以上の高熱が出る、刺された所が水ぶくれ→深い潰瘍になります。あてはまる場合は、早めの受診をおすすめします。

毛虫、ドクガに刺された



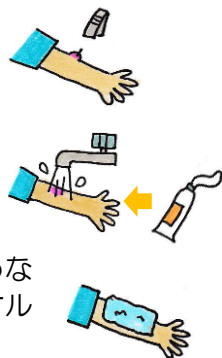
- ①出来るだけこすらないようにして、セロハンテープなどで毒針をはがし取る。
- ②流水でよく洗い流す。



ハチに刺された



- ①針が残っていれば抜く。
- ②流水でよく洗い、虫刺され用の軟こう(抗ヒスタミン又はステロイド)を塗る。
- ③腫れたり、かゆみがあるようなら、保冷パックや冷たいタオルで冷やす。



こんな時は病院へ



☆ムカデに咬まれた時

指でつまんで毒を出し、患部をよく洗って、皮膚科か外科へ。

☆腫れや痛みが強い

ひどく腫れて、かゆみや痛みがひどい場合は、皮膚科か小児科へ。



こんな時は救急車を

ハチに刺されて呼吸が悪くなり、けいれん、嘔吐、発熱といった症状が見られたら、大至急救急車を。



予防対策

野山に出かける時は

白っぽい帽子

スズメバチは黒っぽい物や黄色いものを攻撃する習性があるので、帽子は白っぽいものをかぶりましょう。

長そで&長ズボン

草木の多い場所では、露出の少ない服装に。

フリルの付いた服は避ける

ひらひらした服は、ハチなどを巻き込むことがあります。

大声で騒がない

大きな音はハチを刺激しやすいです。大声で騒いだり、音楽をかけたりするのは避けましょう。

ジュースを飲みながら歩かない

甘い匂いはハチを誘う原因にもなります。香水やヘアスプレーも危険です。

